

1. 単元名 「世界恐慌と日本の中国侵略」(全8時間)

2. 単元のねらい

世界恐慌による経済の混乱を乗り切るため、欧米諸国が植民地獲得など様々な政策を行い、この流れが第2次世界大戦を招いたことに気づくとともに、我が国のアジア諸国との関係、政治や外交の動きから戦争までの経過を理解することができる。

我が国における戦時体制下での国民生活、戦争が世界全体に及ぼした惨禍を知るなかで、幸福な生活を維持する平和の尊さを感じ、それを支える国際協調と国際平和の実現の重要性に気づくことができる。

3. 単元で培いたい学び方

資料から戦時下の様子や戦争被害の状況を知るなかで、戦争が人類に与えた惨禍と、とりわけアジア諸国の人々に多大な損害を与えたことを理解する学び方。

4. 内容のまとめりとごとの評価規準 歴史的分野の内容(5)カ 「近代の日本と世界」

ア. 社会的事象への関心・意欲・態度	イ. 社会的な思考・判断	ウ. 資料活用の技能・表現	エ. 社会的事象についての知識・理解
我が国の近現代の歴史とそれに関わる関心を高め、意欲的に追究し、国際協調の精神を養い国民としての自覚を持つようとする。	我が国の近現代の歴史とそれに関わる世界の動きから課題を見出し、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	我が国の近現代の歴史とそれに関わる様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	我が国の近現代の歴史とそれに関わる世界の動きを理解し、その知識を身につけている。

5. 単元の評価規準

	ア. 社会的事象への関心・意欲・態度	イ. 社会的な思考・判断	ウ. 資料活用の技能・表現	エ. 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	世界恐慌による経済混乱を乗り切ろうとした欧米諸国の政策に関心を持ち、我が国の政策を意欲的に追究している。	世界恐慌による欧米諸国の政策が植民地獲得競争を促進させ、我が国の軍部の台頭につながったこと、戦争が人類全体に及ぼした惨禍を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	世界恐慌による経済の混乱、戦時下での国民の生活に関する文献、映像、統計・グラフなどの様々な資料を収集し、適切に選択活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	世界恐慌に対する欧米諸国の政策を理解し、その流れが植民地獲得競争を促進させ、人類全体に多大な損害をもたらした戦争を引き起こしたことに気づき、その知識を身につけている。
学習活動における具体的な評価規	世界恐慌に対する欧米諸国の政策について、関心を高めようとしている。 【第1時 ノートの記述】 戦時下での国民生活について関心を高めようとしている。 【第6時 ノートの記述】	世界恐慌に対する欧米諸国の政策には広大な植民地の保持が前提であり、これに追随しようとする日本の政策について考えている。 【第2時 発言内容】 戦争がアジア諸国と我が国に多大な損害を与えたことを受け止め、国際協調と国際平和の重要性を多面的・多角的に考えている。 【第8時 ノートの記述】	世界恐慌の混乱が植民地獲得に拍車をかけ、我が国の軍部の台頭につながり、戦争が始まったことを資料から読み取っている。 【第3時 ノートの記述】 戦争が人類全体に及ぼした惨禍を資料から読み取っている。 【第7時 ノートの記述】	世界恐慌に対する欧米諸国の政策に追随した日本がアジア諸国にもたらした戦争の惨禍について、その知識を身につけている。 【第4時 発言内容】 植民地獲得競争が、人類全体に多大な損害をもたらした戦争の要因となったことについて、その知識を身につけている。 【第5時 ノートの記述】

時	ねらい	学習活動	評価基準・場所・方法	資料および指導・援助
1	世界恐慌による経済の混乱を欧米諸国がどのように乗り切ろうとしたかを理解し、我が国のその後の動向についても追究していく意欲を高め、単元の課題を設定することができる。	<p>1. 世界恐慌の混乱の様子を資料から考える。</p> <p>・1929年10月29日(暗黒の木曜日)、ニューヨークの株式市場の大暴落が全世界へ広まる。</p> <p>世界恐慌を乗り切るとは、ブロック経済により、日本商品に対する関税や輸入割当がなされ、貿易摩擦が発生した。</p> <p>世界恐慌を乗り切き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスでは外国商品の関税を高くした。 ・アメリカでは失業者を公共事業に雇用した。 ・ソ連は「5ヶ年計画」で影響を受けなかった。 ・植民地のないイタリアはエチオピアを侵略した。 <p>単元を貫く課題 「恐慌で混乱する世界の中で、はたして国際協調と国際平和は実現するのであろうか。」</p>	<p><ア - > 世界恐慌に対する欧米諸国の政策について、関心を高めようとしている。</p> <p><場所> 学習活動2</p> <p>ノートの記述(例)</p> <p>2.3 カ国の様子について 発言内容(例)</p>	<p>教科書「株価の暴落で混乱するニューヨークのウォール街」 教科書「ブロック経済」</p> <p>援助：具体的な国名を示して、その国が何をしたか教科書の記述から調べるようにする。</p>
		<p>世界恐慌に対して、国土の広いアメリカは開発することで、イギリス・フランスは植民地との貿易を独占し、外国商品には高い関税をかけて乗り切ろうとした。植民地のないイタリアはエチオピアを侵略した。日本はどのような影響を受けることになるだろう。</p>		
2	世界恐慌による経済の混乱の影響を受けた我が国の状況を、欧米諸国の政策に関連づけながら理解することができる。	<p>1. 前時の世界恐慌に対する世界各国の対応をふり返り、日本への影響を確かめる。</p> <p>・アメリカ・・・公共事業への投資による失業者対策</p> <p>・イギリス・フランス・・・高い関税をかけて外国商品を締め出すブロック経済</p> <p>・ソ連・・・「5カ年計画」</p> <p>失業者増大により労働争議の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカのように公共事業に投資をして失業者を減らす。 ・ソ連のように恐慌の影響のない計画経済をやってみる。 ・イギリスやフランスのようにブロック経済をやることで植民地との貿易の利益を独占してはどうか。高い関税をかけられたからやり返せばいい。 <p>3. 本時の学習について思いをまとめる。</p>	<p><イ - > 世界恐慌に対する欧米諸国の政策には広大な植民地の保持が前提であり、これに追随しようとする日本の政策について考えている。</p> <p><場所> 学習活動2</p> <p><方法> 政策の根拠をはっきりと示しながら話せるとよい。</p>	<p>教科書「小作争議と労働争議」 教科書「職を求める人々」</p> <p>援助：欧諸国は広大な植民地を保有し、米国は西武開発に乗り出す。我が国の植民地は台湾と朝鮮半島にとどまっており、欧米諸国に比べ極めて少ないことに気づくようにする。</p>
		<p>世界恐慌の影響を受け、我が国も農民や労働者は困窮した生活を強いられていた。一度は立ち直りを見せた貿易も、日本商品には高い関税をかけられて貿易摩擦が発生したことも分かった。欧米諸国は、植民地との貿易を独占することでその利益を得ていったが、植民地を持たない日本は不利だと思う。</p>		
準				

時	ねらい	学習活動	評価基準・場所・方法	資料および指導・援助
3 日本 の 中国 侵略	経済の混乱を満州侵略という植民地獲得で乗り切ろうと、武力をふりかざし軍部が台頭していくことを理解することができる。	<p>1. 前時をふり返し、本時の学習課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">世界恐慌を乗り切るための日本の政策を調べよう。</p> <p>前時の予想と比較しながら、日本の政策について年表をもとに調べる。 <年表(例)></p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>1930 浜口雄幸総理狙撃 - 軍縮の条約に調印した総理大臣を右翼が狙撃</p> <p>1931 満州事変 - 満州の利権を獲得するため満鉄を爆破し満州を不当に占領した関東軍の自作自演の事件</p> <p>1932 5・15 事件 - 満州国を承認しなかった犬養総理を軍部が暗殺</p> <p>1933 国際連合脱退 - 満州の占領を国際社会から非難</p> <p>1936 2・26 事件 - 軍需政権の樹立を目指すクーデター</p> <p>1937 7.7 盧溝橋事件 - 日中戦争がはじまる</p> </div> <p>・軍縮を実現した総理が軍部によって狙撃されていることから、軍部は軍縮に反対している。</p> <p>・軍隊が自作自演の爆破を起こし、満州を不当に占拠し植民地とした。それどころか、これに反対した総理を暗殺した。</p> <p>・軍部が武力で政治家をねじ伏せ、中国の侵略へと向かっている。</p> <p>3. 本時の学習について思いをまとめる。</p>	<p><ウ - ></p> <p>世界恐慌の混乱が植民地獲得に拍車をかけ、我が国の軍部の台頭につながり、戦争が始まったことを資料から読み取っている。</p> <p><場所> 学習活動2</p> <p><方法></p> <p style="border: 1px dotted black; padding: 2px; display: inline-block;">ノートの記述(例)</p> <p>軍部が力で政治の主導権を握っていくことを示せるとよい。</p>	<p>年表</p> <p>資料「浜口総理の狙撃を伝える新聞」 教科書「5・15 事件を報じる新聞」 資料「リットン調査団の報告」 教科書「2・26 事件」</p> <p>援助：年表から軍部の動きに気づくようにする。また、国連脱退によって国際社会からも日本は孤立していることに気づくようにする。</p>
		<p>政治に対して軍部が武力で対抗し、満州国を認めなかった総理大臣までも海軍将校によって暗殺された。経済の混乱を中国侵略で乗り切ろうとした軍部の動きを政治家が止められなくなってしまったことで国際社会から孤立し、植民地獲得を目指す日本の動きは今後どうなっていくのだろう。</p>		
4 日 中 全 面 戦 争	日中戦争拡大の様子を調べるなかで、この戦争が中国にもたらした惨禍を理解することができる。	<p>1. 前時をふり返し、本時の学習課題を設定する。</p> <p>1937.7.7 盧溝橋事件 - 北京郊外の盧溝橋でおこった日中両国軍の武力衝突により日中戦争がはじまった。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">植民地獲得に動き始めた日本と中国との戦争について調べよう</p> <p>2. 年表で日中戦争の流れについて確認する。</p> <p>1937.9 抗日民族統一戦線 - 中国では、対立していた国民党と共産党が協力し、抗日民族統一戦線が結成された。</p> <p>1937.12.13 南京事件 - 首都南京を占領した日本は、略奪、強姦、放火、虐殺を繰り返し、女性や子どもを含む少なくとも約 20 万人の人々を殺害した。</p> <p>1939.9 第 2 次世界大戦 - イギリスとフランスがドイツに宣戦</p> <p>3. 南京事件の資料から意見を交流する。</p> <p>・女性や子どもまで無差別に約 20 万人を殺害したことはひどい。</p> <p>・人を袋詰にして蹴り殺したり、焼き殺したりするなんて人間のすることではない。</p> <p>4. 本時の学習について思いをまとめる。</p>	<p><エ - ></p> <p>世界恐慌に対する欧米諸国の政策に追随した日本が、アジア諸国にもたらした戦争の惨禍について、その知識を身につけている。</p> <p><場所> 学習活動3</p> <p><方法></p> <p style="border: 1px dotted black; padding: 2px; display: inline-block;">発言内容(例)</p> <p>事実の基づいて戦争の惨禍を受け止められるとよい。</p>	<p>年表</p> <p>前回使用した年表もつながりを示す上で活用する。 教科書「日中戦争の広がり」 資料：南京事件に関するもの</p> <p>援助：資料から南京事件に対しての意見をもてるようにする。</p>
		<p>戦争が拡大するなかで、日本は中国の国土を侵略するだけではなく、南京事件では、女性や子どもを含む約 20 万人の人々を殺害したことがわかった。日本軍が南京でしたことは、信じられない。しかし、許せることではない。ヨーロッパでも第 2 次世界大戦が始まった。この戦争はいつまで続くのだろう。</p>		

時	ねらい	学習活動	評価基準・場所・方法	資料および指導・援助		
5	植民地獲得のためにヨーロッパでは第2次世界大戦が始まり、その混乱のなかアジアでの勢力拡大をはかった日本はアメリカと対立して太平洋戦争を始まることを理解することができる。	<p>1. 前時をふり返り、本時の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>第2次世界大戦はどのような原因ではじまったのだろうか。また、日本はどう対応したか。</p> </div> <p>2. 年表の流れから気づいたことを書く。ノートの記述(例)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;"> <p>1933.1 ドイツのナチス政権獲得</p> <p>1933.10 ドイツ国際連盟脱退</p> <p>1938.3 ドイツがオーストリア併合 チェコスロバキア領割譲</p> <p>1939.9 ドイツがポーランドに侵攻する</p> <p style="text-align: center;">第2次世界大戦 - イギリスとフランスがドイツに宣戦</p> <p>1940 三国同盟 - 日本・ドイツ・イタリアが結束を強化する</p> <p style="text-align: center;">日本軍が仏領インドシナに侵攻</p> </td> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>ドイツもナチスの台頭で植民地獲得に動き戦争が始まった。</p> </td> </tr> </table> <p>3. 本時の学習について思いをまとめる。</p>	<p>1933.1 ドイツのナチス政権獲得</p> <p>1933.10 ドイツ国際連盟脱退</p> <p>1938.3 ドイツがオーストリア併合 チェコスロバキア領割譲</p> <p>1939.9 ドイツがポーランドに侵攻する</p> <p style="text-align: center;">第2次世界大戦 - イギリスとフランスがドイツに宣戦</p> <p>1940 三国同盟 - 日本・ドイツ・イタリアが結束を強化する</p> <p style="text-align: center;">日本軍が仏領インドシナに侵攻</p>	<p>ドイツもナチスの台頭で植民地獲得に動き戦争が始まった。</p>	<p><エ - ></p> <p>植民地獲得競争が、人類全体に多大な損害をもたらした戦争の要因となったことについて、その知識を身につけている。</p> <p><場所> 学習活動2</p> <p><方法> ノートの記述</p>	<p>教科書「第2次世界大戦中のヨーロッパ」</p> <p>教科書「アジア・太平洋での戦争」</p> <p>援助：資源を求めて東南アジアの進出をはかっていたことを調べるようにする。</p>
<p>1933.1 ドイツのナチス政権獲得</p> <p>1933.10 ドイツ国際連盟脱退</p> <p>1938.3 ドイツがオーストリア併合 チェコスロバキア領割譲</p> <p>1939.9 ドイツがポーランドに侵攻する</p> <p style="text-align: center;">第2次世界大戦 - イギリスとフランスがドイツに宣戦</p> <p>1940 三国同盟 - 日本・ドイツ・イタリアが結束を強化する</p> <p style="text-align: center;">日本軍が仏領インドシナに侵攻</p>	<p>ドイツもナチスの台頭で植民地獲得に動き戦争が始まった。</p>					
		<p>植民地のなかったドイツがヨーロッパで侵略を繰り返し、第2次世界大戦が始まった。この混乱に日本も乗じてアジアでの勢力拡大をはかるうとしてアメリカと太平洋戦争を起こす。人々はこの戦火の最中どのようにくらしていたのだろうか。</p>				
6	長期化する戦時下のなかでの人々の生活の様子を知るとともに、アジアの植民地での人々の様子についても理解することができる。	<p>1. 戦時下の人々の写真を見せ着目させ、本時の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>戦争の下で人々はどのようにくらしていたのだろうか</p> </div> <p>2. 教科書・資料集などから戦時下の人々のくらしについて調べる。</p> <p><日本国内では></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南京事件の残酷な状況については何も報道されず、人々は中国の首都南京の陥落に歓喜した。 ・戦争は長期化し、政府は戦争の国民による協力体制を整えるために1938年4月国家総動員法を公布した。国民を軍需工場などに動員した。 ・農村では人手と肥料不足から収穫が減り、サトウ、マッチ、木炭、綿製品が配当制、米も配給制となった。 ・自由主義的な思想や学問には厳しい弾圧が加えられた。 ・労働力が不足し、女性や学生の労働に頼らざるを得なくなった。学徒動員が始まると、高校生や中学生まで工場や農村で働かされた。 ・1945年3月の東京大空襲では、100万人が焼け出された。 ・大都市の小学生は父母のもとを離れて、農村に集団で疎開をした。 <p><植民地では></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮半島では、日本語の使用や創氏改名を強制した。 ・朝鮮の人々も戦争に動員した。 ・植民地では、労働力不足を補うために外国人を強制的に高山や工場で働かせた。在日朝鮮人・韓国人の差別へ <p>3. 戦争体験者(Aさん)のビデオを見る。</p> <p>4. 本時の学習について思いをまとめる。</p>	<p><ア - ></p> <p>戦時下での国民生活について関心を高めようとしている。</p> <p><場所> 学習活動2</p> <p><方法> ノートの記述(例)</p> <p>具体的な生活の様子を数多く捉えるとよい。</p>	<p>当時の写真</p> <p>戦争を体験した身近な人(Aさん)の話を取めたビデオ</p> <p>援助：配給物資の箱・赤紙や出征を見送る映像など当時の緊迫した状況を実際に生徒の目に触れさせたい。また、疎開や学徒動員など自分達と同じ世代が体験していたこと確認する。</p>		
		<p>戦争に勝つために、女性や子どもまでもが働いていたことが分かった。また、植民地の人々が強制的に働かされていることに驚いた。東京大空襲では、焼け出された人が100万人もあり、ビデオのAさんの話にもあったように、この戦争は人々の生活の苦しさ、犠牲のもとに成り立っていたことを感じた。</p>				

時	ねらい	学習活動	評価基準・場所・方法	資料および指導・援助
7 戦争の終結	戦争がアジア諸国と我が国に多大な損害を与えたことが理解することができる。	<p>1. 前時をふり返り、本時の学習課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第2次世界大戦でどれだけの被害があっただろうか</p> <p>2. 資料や統計から被害の状況を調べる。</p> <p><岐阜(身近な地域では)> 空襲について 岐阜市 1945.7.9 被害家屋約2万戸 死者818人 大垣市 1945.3~7 被害家屋約5220戸 死者97人 各務原 1945.4~8 被害家屋約596戸 死者233人 多治見 1945.7 多治見駅・小泉駅銃撃 死者20人 「わかりやすい 岐阜県史」より</p> <p><日本> ・1945年3月の東京大空襲では、100万人が焼け出された。 ・沖縄戦線では沖縄県の人口の4分の1にあたる12万人以上の犠牲者 ・原子爆弾で、広島で20万人以上、長崎で14万人以上の人々がなくなった。</p> <p><アジア> ・アジア各国の犠牲者は、約2000万人以上といわれている。</p> <p><世界>国(軍人・市民) ソ連(1300万・700万)、中国(350万・1000万)、ドイツ(350万・380万)、ポーランド(12万・530万)、フランス(25万・36万)、イギリスおよびイギリス連邦(45万・6万)、イタリア(33万・8万)、日本(170万・38万)、アメリカ(軍人40万)</p> <p>3. 戦争終結の流れを確認する 1945年8月14日 ポツダム宣言受諾</p> <p>3. 本時の学習について思いをまとめる。</p>	<p><ウ - > 戦争が人類全体に及ぼした惨禍を資料から読み取っている。</p> <p><場所> 学習活動2</p> <p><方法> ノートの記述(例) 被害は日本国内だけでなく世界中に及んでいる。中でもソ連・アジア諸国の犠牲者が特に多い。その責任は日本にもあると思う。</p>	<p>戦争被害の統計資料</p> <p>援助: アジアの戦争被害について気づくようにする。</p>
		<p>世界恐慌から始まり、植民地獲得の競争に拍車がかかったことで再び戦争の被害が世界を襲った。アジアでは約2000万人の人々の尊い命がなくなった。この戦時下のなかで人々の幸せな生活すら保障されなかったことがとても悲しい。また、アジアの人々に対する謝罪の気持を持たなければならないと思う。</p>		
8 これからこの日本の考え	戦争の要因、戦争がもたらした多大な損害を受け止めながら国際協調と国際平和の重要性を理解することができる。	<p>1. Aさんのメッセージを聞き、本時の学習課題を設定する。</p> <p>戦争体験を踏まえて、今後の日本を支えていく若者に対するメッセージ</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">終戦を迎え、日本、世界について考えよう</p> <p>2. 今までの学習をふり返り、自分の考えを書く。</p> <p><戦争の原因: 植民地獲得競争> ・植民地の獲得競争が戦争を招いた。こういうことが起きない国になっていかなければならない。 ・植民地の資源や利権を独占するやり方では平和は保てないと思う。 ・脱退国が多数あった国際連盟のあり方も考えたほうがいいと思う。国際連盟の意味はあったのか。</p> <p><戦争の被害: 多くの犠牲者・人々の生活> ・戦争で多くの人々が死んだ。殺し合いに価値はあるのか。 ・戦争は身近な人の死や困窮する生活によって人々の生活を苦しめ続けていた。こんな生活を強いられるのはおかしいと思う。</p> <p>3. 単元を貫く課題 について思いをまとめる。 「恐慌で混乱する世界の中で、はたして国際協調と国際平和は実現するのであろうか。」</p>	<p><イ - > 戦争がアジア諸国と我が国に多大な損害を与えたことを受け止め、国際協調と国際平和の重要性を多面的・多角的に考えている。</p> <p><場所> 学習活動2</p> <p><方法> ノートの記述(例)</p>	<p>これまで扱った資料</p> <p>戦争を体験した身近な人(Aさん)の中学生に対するメッセージビデオ</p> <p>援助: 本単元の学習をふり返り、一人ひとり必ず意見が持てるよう指導する。</p>
		<p>植民地獲得という利権の独占が2度にわたる世界大戦をもたらしたといえる。日本をはじめ、これらの帝国主義にたくさんの国がなびき、損害を拡大させた。そして、世界中の人々に悲しみと不安をもたらした。今日の日本の役割は、世界の中で国際平和を唱え、実行していかなければならない。</p>		

